

日本庭園学会ニュース

The Academic Society of Japanese Garden News

NO. 84
平成27年

平成27年度日本庭園学会関西大会 案内

発行 日本庭園学会(会長 鈴木久男)
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1
東京農業大学 地域環境学部 造園科学科
ガーデンデザイン研究室
TEL(03)-5477-2430(鈴木誠研究室)
http://wwwsoc.nii.ac.jp/asjg/

平成27年度 日本庭園学会関西大会 案内

下記の要領で、平成27年度日本庭園学会関西大会を開催いたします。

■日時

平成27年11月7日(土)、8日(日)

■会場

島本町立歴史文化資料館 旧麗天館

住所：大阪府三島郡島本桜井一丁目3番1号

電話番号：075-961-3411

ファックス番号：075-585-3411

■後援

島本町教育委員会

■会費(2日間)

大会参加費：学会員・学生500円、非学会員1,000円

現地検討会参加費：1,000円(実費)

公開シンポジウムのみ参加は無料

資料代(公開シンポジウム・研究発表要旨集):1,000円

■参加申込み

当日、会場、集合場所へ直接お越しください。

なお、会場準備の都合上、可能な限りメールまたはファクシミリで、以下の項目をご連絡ください。

- ①参加者氏名
- ②当日連絡の取れる電話番号
- ③参加するプログラム(現地検討会・公開シンポジウム・研究発表会)

連絡先：日本庭園学会関西支部

ファックス番号：075-791-9127

メール：naka@kuad.kyoto-art.ac.jp



『島本町立歴史文化資料館』アクセスマップ

JR 東海道線島本駅下車東口徒歩1分

阪急電鉄水無瀬駅下車西へ徒歩5分



島本町立歴史文化資料館

スケジュール

○11月7日(土) 9:00～16:30(予定)
現地検討会、公開シンポジウム

現地検討会「水無瀬神宮燈心亭とその庭、水無瀬離宮推定地探訪」



集合場所、阪急電鉄大山崎駅地図
京都駅よりJR山崎駅徒歩6分または、
京都駅より地下鉄烏丸線四條駅経由阪急大山崎駅

◆スケジュール

- 9:15 阪急電鉄大山崎駅改札口集合
- 9:30 開会あいさつ
日本庭園学会関西支部長 仲 隆裕
- 9:45 大山崎町歴史資料館企画展
「河陽離宮と水無瀬離宮」見学
解説：大山崎町歴史資料館館長 福島 克彦氏
- 10:15 徒歩にて移動
- 10:30 水無瀬神宮 客殿・燈心亭と庭園の見学

- 11:15 徒歩にて移動
無瀬離宮関連遺跡地、広瀬遺跡、
西浦門前遺跡
- 12:15 島本町歴史文化資料館着 移築庭園の見学
(各自、昼食・休憩)
- 13:30～16:30 公開シンポジウム「庭園遺構の保存
と移築 - 現状と課題・展望 - 」

★水無瀬神宮は、承久の変で隠岐に流された後鳥羽上皇の遺勅により、仁治元年(1240)藤原信成・親成によって水無瀬殿跡に御影堂を建立し上皇の霊を祀ったことに始まる。のち、土御門天皇、順徳天皇の神霊を合祀した。明治6年に官幣中社に、昭和14年に官幣大社とされた。客殿(重要文化財)は桃山時代の造営(非公開)、茶室・燈心亭は後水尾天皇から下賜されたと伝える。庭園は池庭であるが、現在水が途絶えている。

★島本町立歴史文化資料館の建物である旧麗天館は、大阪財界の重鎮で史跡桜井駅跡の拡張整備事業に尽力した一瀬兼吉らによって昭和16年(1941年)、史跡桜井駅跡の記念館として建立したものである。扁額は近衛文麿の書。戦後は大阪府立青年の家の講堂として開放されたが、青年の家閉所後の平成16年、島本町が大阪府から無償譲渡を受けた。なお、平成27年3月、文化審議会文化財分科会は旧麗天館を登録有形文化財(建造物)として登録するよう文部科学大臣に答申した。

◆シンポジウムの主旨

これまで都市開発に伴い発掘された庭園遺構の保存については、移築という手法が用いられることがあった。それは、遺跡全体が取り壊されても、部分的に庭園が保存されるという点で、効果的な手段と考えられてきたからである。しかしながら、庭園の移築時に行われるべき調査のあり方や、移築先の選定基準、移築技術などについて、これまで本学会において十分な議論が行われてきたとはいえない。

一方で、近年、移築された庭園遺構が、再び都市開発によって取り壊されるという事態が生じている。その背景には、「移築保存」の有効性を担保する行政的な制度の不備という根本的な課題があるといえる。以上のような庭園遺構の移築が抱える現状と課題について、考古学と庭園学の研究者さらには土地の所有者、行政の立場から議論する。

なお、島本町教育委員会は、平成27年に西浦門前遺跡（水無瀬離宮推定地）において発掘された庭園遺構の一部を会場である島本町立歴史文化資料館の敷地内に移築するプロジェクトを市民参加事業として実施している。当日はその移築庭園も事例として見学し、議論していきたい。

◆シンポジウムのプログラム

シンポジウムの主旨説明

関西支部長 仲 隆裕

話題提供1 発掘遺構の保存・移築事例について

京都市考古資料館 前田 義明氏

話題提供2 庭園遺構の立地・構造・材料・工法・意匠の把握と移築技術

京都造形芸術大学 仲 隆裕氏

話題提供3 庭園遺構の保存と文化財保護の制度の現状

京都市文化財保護課 今江 秀史氏

話題提供4 庭園遺構の移築と利活用ー島本町西浦門前遺跡の庭園遺構移築を事例としてー

島本町教育委員会 木村 友紀氏

討 議

コメンテーター

宇治市歴史まちづくり推進課 杉本 宏氏

○11月8日(日) 10:00～15:10

研究発表会、日本庭園学会賞授賞式

会場 島本町立歴史文化資料館

受付開始 9:30

◆プログラムと発表概要

(10:05～10:35)

1. 庭園遺構の保存と移築ー現状と課題・展望ー

エマニュエル・マレス（総合地球環境学研究所支援員
研究員・奈良文化財研究所客員研究員）

今回の発表では、昭和44年（1969年）に、奈良の唐招提寺に移転された庭園を紹介したい。元々は京都の妙蓮寺の塔頭、玉龍院にあった庭であるが、玉龍院が経営していた保育園を増築するということで、庭は取り壊されることになった。そこで、日本庭園史家の森蘊は唐招提寺の森本孝順長老と相談した結果、移転が決まり、保存することができた。その移転のいきさつと現状を報告し、また庭園文化財としての活用について考察したい。

(10:35～11:05)

2. 『御堂関白記』の記述と平安京跡における発掘調査記録にみる平安期貴族住宅の庭の認識と意味

今江 秀史（京都市文化財保護課、大阪大学大学院人間科学研究科）

藤原道長の日記『御堂関白記』の寛弘3年正月から同12月における屋敷内でのハレの儀式の記述を抽出し、屋内以外の場所で行われた行為を「年中行事絵巻」の描写等を通じ、平安期の貴族住宅における庭の認識について分析し、当時の語彙と認識の関係を解明する。さらに発掘調査によって検出された遺跡との照合を通じ、平安期における事を行う所としての庭の意味を顕在化する。

(11:05～11:35)

3. 水無瀬離宮の庭園史的意義

豊田 裕章（京都大学人文科学研究所共同研究員）

水無瀬離宮はもともと源通親の別業を離宮としたものであったが、第1期、第2期、第3期と次第に拡充され、建保四年の大洪水以後の最終段階の姿は、それまでの本

御所とともに、新御所、南御所（菌殿）、西御所などの複数の御所群や上皇の御堂である蓮華寿院、近親の邸宅群などで構成されるものとなっている。さらに街区をともなった中枢部の西南の山側に山上御所という庭園施設を設け、さらに桜井方面まで庭園施設を展開しているようである（西浦門前遺跡はこれに該当すると推定する）。水無瀬離宮は広がりをもつ庭園都市的なものであったと考えられる。

（各自、昼食・休憩）

（13：00～13：10）

日本庭園学会賞授賞式

（13：10～13：40）

4. 『都林泉名勝図会』における庭園描写の特徴

白木 朝乃（京都造形芸術大学大学院生）・仲 隆裕（京都造形芸術大学）

『都林泉名勝図会』は寛政11年（1799）に京都で刊行され、秋里籬島によって編集された、京都の庭園と名勝を紹介した名所案内記である。しかし、本文中に庭園の特徴を紹介した記述はほとんどみられず、庭園の様相を描く挿図、特に画面に描かれる人物や季節の表現がその役割を果たしている。これは秋里の名勝を知るには絵画が効果的である、という主張に基づいていると考えられ、そのため挿図には写実的要素が多いものの大胆なデフォルメも行われているといえよう。

（13：40～14：10）

5. 京都円山公園の成立の経緯にみる独立機能としての庭園の誕生

今江 秀史（京都市文化財保護課、大阪大学大学院人間科学研究科）

京都東山に所在する円山公園は、おおむね江戸期の圓山山麓、真葛原、祇園林からなる範囲を前身としている。その公園敷地の東端には、大正初期の公園改良工事によって造られた〈庭園〉がある。本論は、当時の紀行文や旅行案内書に基づき、円山公園の前身とされる範囲が江戸中後期の人々にとっていかなる関心を持っていたかを分析し、近代に造られることになった〈庭園〉がいかなる意味を持つかについて解明する

（14：10～14：40）

6. 旧約聖書の中にみる石と岩の役割

岡島 直方（南九州大学）

本論では旧約聖書の中で石や岩が果たしている役割について調べた。石はその硬く重たい性質から当時実用的に用いられたものであったが、しだいにその石の物理的性質をこえて、石が持つ性質から連想される別のこと⇨神の祝福を受けた者の象徴として用いられるようになった。それは聖書の中の断片的な記述から浮かび上がる。一方、岩は神を象徴するものとして記述されていることが分かった。

（14：40～15：10）

7. 作庭記に学ぶ事業戦略（5）イノベーション賛美時代の留意点（仮題）

森 泰規（株式会社博報堂ブランド・イノベーションデザイン局）

産業界で「イノベーション」について耳にしない日はないが、その解釈の深まりには今一つの足らなさを感じる。それは技術の革新ではなく、むしろ技術を意図的に後退させている場合にも起こり、当事者が何かを為そうとする理由（理念・意義）が明確で或る時にこそ顕在化する。「作庭記」を手がかりに新解釈を試みよう。

（15：10～16：40）

理事会



NAJGA (北米日本庭園協会)2016年大会

「健康な世界に向けて：健康と変容の場としての日本庭園」

開催日：2016年3月7日 - 8日

会議場：モリカミミュージアム日本庭園、デルレイ・ビーチ（フロリダ州）

発表申込み：10月15日締め切り

詳細はNAJGAホームページ (<http://www.najga.org>) でご確認ください。

The North American Japanese Garden Association

2016 Biennial Conference

Title: "Towards A Healthier World - Japanese Gardens As Places For Wellness and Transformation"

Date: March 7-8 2016

Place: Morikami Museum and Japanese Garden, Delray Beach, Florida

2年に一度開催され、3回目となる北米日本庭園協会の総会、研究・事例報告発表会の案内がきております。開催テーマ、開催日程、開催場所がアナウンスされ、発表申込みが告知されました。発表申込みの締め切りは10月15日で、エントリーされた発表テーマ・内容から、ピアレビュー（審査）を受けて発表者が決定します。

これまで、毎回日本からの数件の発表がおこなわれてきました。ぜひ、日本庭園学会のみなさんのエントリーをお考えください。また、日本並びに、北米在住の日系人の方々の参加も多い会です。フロリダの日本庭園視察も兼ねて、大会参加もご検討ください。

会議の詳細：会議詳細は今後ホームページにて案内される予定です。

参加申込み：今後案内される予定です。

【会費納入のお願い】

学会費の納入額をご確認のうえ、納入のほどよろしくお願い申し上げます。また、過年度滞納の方は併せて納入のほどよろしくお願い申し上げます。

協力者：藤原 千晶（植彌加藤造園株式会社）

日本庭園学会広報委員会

今江秀史、加藤友規

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター 気付

日本庭園学会関西支部事務局 FAX(075)791-9342